

宮川の風 第56号

平成30年9月7日（金）発行
宮川小学校校長室からのたより

長かった夏休みが終わり、2学期が始まりました。転出入があり全児童372人でのスタートとなりました。さっそく運動会の練習も始まり、活気づいている宮川小です。夏休み中は、灯ろう祭りやリサイクル活動、愛校作業などと保護者の皆様のご協力をいただき感謝申し上げます。2学期も様々な行事があります。引き続きよろしくお祈りいたします。

さて、夏休みも終わり間近の8月30日。2学期以降の取組について宮川小職員で話し合いを行いました。その中で、「宮川小の子どもたちは素晴らしい子どもたちだ」ということを、職員間で確認し合いました。いろんな課題はあるものの、笑顔で明るく過ごしているそのことこそが素晴らしいことだということを忘れてはならないと思うのです。

新聞でも報道されましたように、本市の中学3年生の男子が自殺するというショッキングな事案が発生しました。尊い命が失われたことを悔やまずにはいられません。男子生徒さんのご冥福を心からお祈りしたいと思います。

私たちは、子どもの命を最優先しながら学校運営に努めています。健康面からの視点、施設設備の安全性からの視点、そして、子どもたちの心理面からの視点など、多面的な角度から子どもたちの命を守る取組をしています。けっして怠ってはいけない重要な取組でなければなりません。さらに、保護者や地域の方々との連携を密にすることで、さらに子どもたちの命を守る取組が充実すると考えています。

学校での様子で気になることがある場合は、早期に保護者へご相談いたします。その際は、ご家庭での様子などを教えてくださいますようお願いいたします。みんなで子どもたちの命を守っていきましょう。

保護者の皆様へ

ご家庭での様子や子どもさんの言動などから、気になることがありましたら、躊躇なく学校へご相談ください。「こんなことぐらいで相談するのはどうかな」と思うことなく、些細なことでもかまいませんので、お気軽にご連絡いただきたいと思います。また、他の子どもさんのことでも、ご心配なことがある場合はご連絡ください。

なお、学校に相談できない、相談しにくい、相談したくないなどの場合は、裏面の相談機関もごございますのでご利用ください。学校はもちろんですが各相談機関においても、知り得た情報を許可なく外部へ伝えることはありませんので、ご安心してご相談ください。

子どもたちへ

あなたの命は、家族、親戚、先生たち、お友だち、地域の人たちなど、全ての人たちにとっても大切な命です。命はたった一つしかありません。一度失った命は、どんな方法でも取り戻すことはできません。

困ったことや苦しいことなど悩みがあれば、すぐに誰かに相談しましょう。お家の人や先生たちは、いつでもあなたがたの味方です。あなたの話をちゃんと聞いてくれます。

お友だちの命も同じように大切にしましょう。みんなが笑顔で過ごせる宮川小学校にしていきましょう。明日も楽しいことが待っていると信じましょう。

今回の「宮川の風」は、命の尊さをみんなで確認する内容にさせていただきました。

次週からは、1学期同様の内容でお届けしますので、今学期もどうかよろしくお祈りいたします。ご意見・ご感想をお待ちしています。

（文責；鹿児島市立宮川小学校長 松永幸二）